

# 包装タイムズ

THE HOSO TIMES

8月1日 No.3040

-----2022年(令和4年)-----

週刊 月曜発行

発行人 河村 勝志

昭和41年9月22日 第3種郵便物承認

購読料 年 間 23,900円+税

(定価) 1部本体 509円+税

信和

## 環境と調和した商品提案

### バイオやCO<sub>2</sub>削減の包材使い

信和(大阪市西淀川区、〒06・6478・1821)は、環境と調和した商品作りとの企業コンセプトに基づき、青果物、生鮮野菜など農産物関連の包装資材で環境に配慮した製品提案に力を注ぐ。植物由来原料や燃焼時のCO<sub>2</sub>発生を削減する特殊添加剤を使用した製品をそろえ提案する。「スーパーマーケットなどの店頭で販売される青果物、生鮮野菜の包装資材を通じ環境配慮の姿勢を消費者に感じてもらえる売り場作りに貢献したい」として、営業展開を強めていく考え。

同社は包装資材の総合メーカーとして多彩な製品を取り扱い広く知られている。特に、スーパーマーケットなどの店頭で販売される農産物関連の包装資材

では群を抜いた実績を持ち取引先の信頼性も高い。

社内では、「クロロバードプロジェクト」として、環境負荷軽減を目的し新プロジェクト

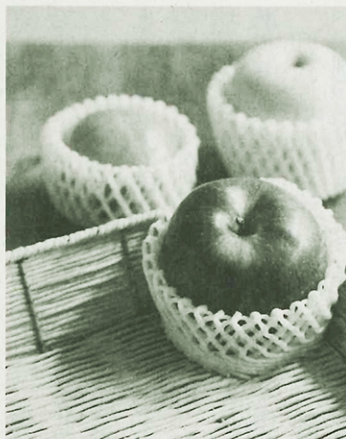
を立ち上げ、「社会の『しあわせ』のために、環境と調和した商品作り」を企業姿勢に青果物、生鮮野菜などの包装資材で新たな製品を提案している。

特に、「エコロジカルパッケージングシリーズ」として製品周知に注力し、「エコロジポドン袋」が話題だ。特徴は「現行品より薄くなった」ことで、石油由来の原料を20%、CO<sub>2</sub>排出量34%削減を実現した。製品サイズは8号(150×250ミ)〜13号(260×360ミ)まで6サイズ用意している。

「バイオ20フルーツキャップ」は、植物由来の原材料を使用する。今回、カララインアップを図り、「いちごみるく」「たんぽぽイエロー」「リーフグリーン」「バナラホワイト」「クラフト」「アプリコットオレンジ」など6色をそろえた。



バイオ原料使用の「エコロジボードン袋」が話題



CO<sub>2</sub>排出量を削減する「バイオ20フルーツキャップ」

また、「エコロジネットシリーズ」は、サトウキビなど植物由来の原材料を使用したネット製品で、カーボンニュートラルの考えから、焼却時のCO<sub>2</sub>排出量を抑制できる製品として提案する。このほか、「エコロジ紙トレイ」などを提案し存在感を鮮明にする考えだ。